

Q. 高梁市歴史的風致維持向上計画について

A. 市長 森和之

市長は、この9年間の取り組みをどのように評価しているのか。

市長 住民の皆さん意識が変わったあるのは、プラスの評価だと考える。ハード的な整備の遅れは評価に値しないと思う。

市長 この計画の期間は平成31年度までだが、以降も継続するのか。そして、内容の変更はあるのか。

市長 平成32年度からの計画（二期計画）に未着手の事業を計上するかどうかを検証する。高梁市から歴史的風致を取ることはできないと考えるので、引き続き進めさせていただきたい。

Q. 近年のトレッキングブームから備中松山城北側の整備が必要ではないか

A. 自然歩道については県の管理であるが、しっかりと協議して整備を進めていく

Q. 上水道と簡易水道の統合について

A. 市長 森和之

高梁市水道経営審議会からの「健全な水道事業の運営について（答申）」が示されて1年が経過するが、答申どおり平成31年4月から料金を引き上げるのか。

副市長 国が示した最終の時期（上水道と簡易水道の統合）は、平成32年4月を想定して作業を進めている。

森 市民負担が軽減するよう国に要望できないか。



施設全景とリニューアル中の体育館



成羽認定こども園と園庭



工場中の高梁市養護老人ホーム

進捗報告!

高梁市養護老人ホーム・成羽認定こども園建設工事

平成29年5月に着手した施設建設工事は、平成30年8月末竣工を目指し進められています。駐車場や遊具設置など外構工事は、その後に施工される予定です。

伊藤 公有財産の処分、未利用地の活用はどうなっているのか。

総務部長 全体としては、公共施設の再編計画の中で、具体的な検討をするとしている。

伊藤 成羽地域の今回の集約複合化に伴う跡地利用は決まっているのか。

教育次長 決まっていない。

伊藤 下原地域に公園を造つていただきたい。

市長 公園は必要だという認識はある。街の土地利用を検討し、前提条件でクリアしなければならない課題がある。その上で、公園はどうあるべきか。どこにあるべきか議論すべきである。

伊藤 管理できない植栽等緑化は造成るべきではないのではないか。

総務部長 維持管理が適切にできることには、かえって景観を損ねることになる。今後は、管理面を十分に検討した上で、設置場所や規模等を配慮していきたい。

市道、農道、林道等管理のあり方について

伊藤 道路維持管理団体の公募はできないだろうか。

産業経済部長 任意団体等公募しての維持管理については、分析をしながら検討していきたい。

伊藤 旭川莊望の丘ワーカセンターの落ち葉堆肥の事業を推薦できなかっか。

宮田 郡部幼稚園の休園におけるルールづけについて

宮田 松原幼稚園は園児4名といふ内規を満たすことができず平成30年度から休園となつた。市内の幼稚園の園児数は減少傾向にあり、今後、行政の規則に適合しないことによる休園が増加すると考えられる。そうした中で、保護者の負担、兄弟の就学関係等を考慮した一定のルールづけについての考え方を示すべきではないか。

健康福祉部長 地域の事情と教育効果を考慮しながら対応したい。

宮田 職員の再雇用、再任用の現状について

宮田 管理職にあつた者を、特定任期付職員として再任用することの、市役所組織、職員に与える影響をどのように考えているのか。

副市長 通例で3年間の期間が付与された任用制度である。公務員改革の途上であり、今後、しっかりと制度を確立したい。組織運営においては私と、市長の責任において円滑に運営することが責務と考えている。

Q. 中学校の部活動はどう変わるのが

A. 小・中学校の垣根を越えて、あるいは学校と地域の垣根を越え、しっかりと計画的に総合的な策を練っていく



伊藤 泰樹

- 財政構造改革の中での公有資産の考え方について
- 市道、農道、林道等管理のあり方について
- 中学校の部活動に高梁市学校再編推進審議会の答申をどう生かすのかについて

Q. 消防庁舎の改築計画はどうか

A. 適切な場所と優良な財源があれば検討に入る用意をしている



宮田 公人

- 郡部幼稚園の休園におけるルールづけについて
- 消防庁舎の改築について
- ごみ処理施設の維持、更新計画について
- 職員の再雇用、再任用の現状について
- 「日朝霧温泉ゆ・ら・ら」の活用に向けた取り組みについて